

## 平成21年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「森林ボランティア団体等による森づくり」部門

2 賞 林野庁長官賞

3 受賞者 特定非営利活動法人 こびすくらぶ  
住所 千葉県船橋市咲が丘 2-43-12  
電話・FAX 047-447-0550  
HP <http://coppice.main.jp>

4 概要 特定非営利活動法人こびすくらぶは、千葉県と船橋市の共催で行われた市民講座「森林の学校」の受講生と既存の森林ボランティアの有志により、平成17年2月に設立された。102haの森林について、森林所有者との受委託契約に基づく森林施業計画を樹立することで、自主的な森林管理のサポート及び代行機能を果たしている。この結果、“植えて育てるみどり”から、“伐って育てる森”への意識の転換及び“森林は地域の財産である”といった合意形成が図られ、地域の森林づくりに責任を持つ市民の育成に役立っている。また、森林所有者が森林づくりの義務を果たす仕組みづくりとして、年30千円/haの森林整備委託料を所有者理解のもと負担いただいております。平成20年度からは、絆の森整備事業等の造林補助事業も活用することで、施業計画地の森林整備を進めている。

5 受賞者の声 私達こびすくらぶは、『森は先祖から譲り受けたものではなく、未来から借り受けているものであり、そのためには適正に管理し次代へつなぐ義務が我々にはある』の理念のもと、これからも森林整備を進めていきます。



## 平成21年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「森林ボランティア団体等による森づくり」部門

2 賞 間伐推進中央協議会会長賞

3 受賞者 ライオン株式会社

住所 東京都墨田区本所 1-3-7

電話 03-3621-6607 FAX 03-3621-6269

HP <http://www.lion.co.jp/index2.htm>

4 概要 ライオン株式会社は、持続可能な循環型社会を実現するために、企業の果たす役割は重大であると考え、特に、水環境保全の取り組みを近年強化している。森林整備や間伐材の利用促進を通じて、CO<sub>2</sub>の吸収促進と「持続可能な森林経営」を活性化することを主目的に「ライオン山梨の森」を開設した。平成18年10月からは、ボランティア休暇制度を利用して、社員が森林整備活動を行うとともに、森林のもつ多面的な機能を体験的に学び、環境保全の重要性を理解するためのフィールドとしても活用している。間伐により搬出された木材は「3.9ペーパーシステム」の仕組みを通じて紙として活用し、「持続可能な森林経営」の一助として国産材の活用に協力している。社員ボランティアは、本社、研究所、小田原・千葉両工場から参加しており、普段はあまり顔を合わすことのない社員同士の交流の場にもなっている。

5 受賞者の声 これまで3年間で8回、のべ181名の社員がボランティア休暇制度を活用し、地元の方と連携しながら取り組んできた森林整備や、間伐材の有効利用などを評価していただき、大変励みになりました。今後もこの活動を含め、一人ひとりの社員が環境意識を高め、環境に配慮した事業活動に取り組んでまいります。



## 平成21年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「森林ボランティア団体等による森づくり」部門

2 賞 全国林業改良普及協会会長賞

3 受賞者 NPO 法人 根来山げんきの森倶楽部

住所 和歌山県和歌山市楠右衛門小路1番地（岡田方）

電話・FAX 073-432-6028

HP <http://genkinomori.web.infoseek.co.jp/>

4 概要 根来山げんきの森倶楽部は、H11年度から県立公園「根来山げんきの森」の整備段階から県との協働により公園作りに関わり、H18からは指定管理者として公園の管理運営を担っている。195haの公園エリア内に40ha程度の人工林があり、H20からその内1haのスギ林の間伐に取り組んだ。間伐した材は、搬出し公園内のベンチ、歩道補修材として活用している。安全性を優先し、作業はゆったりしたペースで行っている。

5 受賞者の声 里山整備を始めて11年。昨年初めて本格的な間伐に取り組み、どんな細い間伐材でも運び出し、公園施設に活用しています。限りある資源の有効利用と地球温暖化防止への取り組みを一人でも多くの公園来園者の皆さまに理解して頂きたいと思っています。

